

V 資 料 編



京都府立医科大学附属病院

【理 念】

世界トップレベルの医療を地域へ

【基本方針】

- ・ 高度で安全な医療を提供します。
- ・ 患者様の権利を尊重し、患者様本位の医療を提供します。
- ・ すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- ・ 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- ・ 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

【患者様の権利】

- ・ 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- ・ わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- ・ 十分な説明を受けた上で、自らの意思で治療方法等を決定することができます。
- ・ 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- ・ 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- ・ セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。

【患者様へのお願い】

- ・ ご自身の体調に関する情報は、できる限り正確にお伝えください。
- ・ 説明を受けられて御理解できない場合は、納得できるまでお聞きください。
- ・ 治療上必要な指示や助言は、お守りください。
- ・ 病状の変化や治療中に生じた問題については、速やかにお知らせください。
- ・ 他の患者様の権利を尊重し、迷惑となるような行為は行わないでください。
- ・ 大学病院の使命である教育・研究に、御理解と御協力をお願いします。

↑：上のポスターは平成18年1月病院機能評価を受けるために作成した標語である。

京都府立医科大学歴代管理職

1973 年（昭和 48 年）～2007 年（平成 19 年）

学 長

佐野 豊	昭和 48 年	4 月	～	昭和 54 年	3 月
水越 治	昭和 54 年	4 月	～	昭和 57 年	3 月
佐野 豊	昭和 57 年	4 月	～	昭和 63 年	3 月
藤田 哲也	昭和 63 年	4 月	～	平成 6 年	3 月
栗山 欣弥	平成 6 年	4 月	～	平成 12 年	3 月
井端 泰彦	平成 12 年	4 月	～	平成 18 年	3 月
山岸 久一	平成 18 年	4 月	～		

附属病院長

谷 道之	昭和 45 年	9 月	～	昭和 50 年	7 月
橋本 勇	昭和 50 年	7 月	～	昭和 52 年	7 月
水越 治	昭和 52 年	7 月	～	昭和 54 年	3 月
楠 智一	昭和 54 年	4 月	～	昭和 58 年	3 月
伊地知濱夫	昭和 58 年	4 月	～	昭和 60 年	3 月
榊田喜三郎	昭和 60 年	4 月	～	昭和 62 年	3 月
岡田 弘二	昭和 62 年	4 月	～	平成 3 年	3 月
岡 隆宏	平成 3 年	4 月	～	平成 5 年	3 月
近藤 元治	平成 5 年	4 月	～	平成 7 年	3 月
中川 雅夫	平成 7 年	4 月	～	平成 9 年	3 月
近藤 元治	平成 9 年	4 月	～	平成 11 年	3 月
安野 洋一	平成 11 年	4 月	～	平成 13 年	3 月
中川 雅夫	平成 13 年	4 月	～	平成 15 年	3 月
山岸 久一	平成 15 年	4 月	～	平成 17 年	3 月
本庄 英雄	平成 17 年	4 月	～	平成 19 年	3 月
木下 茂	平成 19 年	4 月	～		

学生部長

吉田 幸雄	昭和 46 年	7 月	～	昭和 48 年	3 月
亘 弘	昭和 48 年	4 月	～	昭和 52 年	3 月
山澤 吉平	昭和 52 年	4 月	～	昭和 56 年	3 月
森本 武利	昭和 56 年	4 月	～	昭和 60 年	3 月
井端 泰彦	昭和 60 年	4 月	～	平成 元年	3 月
古村 節男	平成 元年	4 月	～	平成 5 年	4 月
外山 敬介	平成 5 年	4 月	～	平成 7 年	3 月
有菌 直樹	平成 7 年	4 月	～	平成 9 年	3 月

河田 光博	平成 9 年	4 月	～	平成 11 年	3 月
高松 哲郎	平成 11 年	4 月	～	平成 15 年	3 月
丸中 良典	平成 15 年	4 月	～	平成 19 年	3 月
有薗 直樹	平成 19 年	4 月	～		

進学部長

服部 英二	昭和 48 年	6 月	～	昭和 50 年	3 月
三谷 一雄	昭和 50 年	4 月	～	昭和 52 年	3 月
桑垣 煥	昭和 52 年	4 月	～	昭和 54 年	3 月
吉田 忠勝	昭和 54 年	4 月	～	昭和 56 年	3 月
高本 薫	昭和 56 年	4 月	～	昭和 58 年	3 月
鯖田 豊之	昭和 58 年	4 月	～	昭和 60 年	3 月
山本 尤	昭和 60 年	4 月	～	昭和 62 年	3 月
増田 英夫	昭和 62 年	4 月	～	平成 元年	3 月
斎藤 武	平成 元年	4 月	～	平成 3 年	3 月
湯鱒 慎一	平成 3 年	4 月	～	平成 5 年	3 月
森山 祥彦	平成 5 年	4 月	～	平成 8 年	3 月

教養教育部長

森山 祥彦	平成 8 年	4 月	～	平成 9 年	3 月
八木 克己	平成 9 年	4 月	～	平成 11 年	3 月
湯浅 慎一	平成 11 年	4 月	～	平成 13 年	3 月
佐野 護	平成 13 年	4 月	～	平成 17 年	3 月
大武 博	平成 17 年	4 月	～	平成 19 年	3 月
花井 一光	平成 19 年	4 月	～		

附属図書館長

間島 進	昭和 46 年	7 月	～	昭和 52 年	7 月
永田 久紀	昭和 52 年	7 月	～	昭和 54 年	7 月
岸田綱太郎	昭和 54 年	7 月	～	昭和 56 年	7 月
吉田 幸雄	昭和 56 年	7 月	～	昭和 60 年	7 月
川井 啓市	昭和 60 年	7 月	～	平成 元年	7 月
近藤 元治	平成 元年	7 月	～	平成 5 年	3 月
高橋 俊雄	平成 5 年	4 月	～	平成 7 年	3 月
前田 知穂	平成 7 年	4 月	～	平成 9 年	3 月
芦原 司	平成 9 年	4 月	～	平成 12 年 10 月	
岩井 直躬	平成 12 年 12 月	～	平成 15 年	3 月	
西村 恒彦	平成 15 年	4 月	～	平成 17 年	3 月
安原 正博	平成 17 年	4 月	～	平成 19 年	3 月
田中 義文	平成 19 年	4 月	～		

研究部長

藤田 哲也	昭和48年	7月	～	昭和50年	7月
米澤 猛	昭和50年	7月	～	昭和54年	7月
栗山 欣也	昭和54年	7月	～	昭和58年	7月
岩島 昭夫	昭和58年	7月	～	昭和63年	3月
栗山 欣也	昭和63年	4月	～	平成 4年	3月
阿部 達生	平成 4年	4月	～	平成 8年	3月
今西 二郎	平成 8年	4月	～	平成10年	3月
西野 輔翼	平成10年	4月	～	平成14年	3月
伏木 信次	平成14年	4月	～	平成18年	3月
渡邊 能行	平成18年	4月	～	平成19年	3月
木村 實	平成19年	4月	～		

医療センター所長

谷 道之	昭和46年	6月	～	昭和51年	3月
伊地知濱夫	昭和51年	4月	～	昭和55年	3月
加藤 伸勝	昭和55年	4月	～	昭和58年	7月
榊田喜三郎	昭和58年	7月	～	昭和60年	3月
瀧野 辰郎	昭和60年	4月	～	昭和62年	3月
平川 公義	昭和62年	4月	～	昭和63年	3月
中嶋 照夫	昭和63年	4月	～	平成 2年	3月
澤田 淳	平成 2年	4月	～	平成 4年	3月
安野 洋一	平成 4年	4月	～	平成 6年	3月
中川 雅夫	平成 6年	4月	～	平成 7年	3月
平澤 泰介	平成 7年	4月	～	平成 9年	3月
村上 泰	平成 9年	4月	～	平成11年	3月
木下 茂	平成11年	4月	～	平成13年	3月
福居 顯二	平成13年	4月	～	平成15年	3月
本庄 英雄	平成15年	4月	～	平成17年	3月
岸本 三郎	平成17年	4月	～		

附属看護専門学校校長

宮崎 正夫	昭和56年	4月	～	昭和58年	3月
岡田 弘二	昭和58年	4月	～	昭和60年	3月
糸井 素一	昭和60年	4月	～	平成 元年	3月
渡辺 決	平成 元年	4月	～	平成 5年	3月
岡田 弘二	平成 5年	4月	～	平成 8年	3月

医療技術短期大学部学部長

岡田 弘二	平成 5 年 4 月	～	平成 8 年 3 月
渡辺 決	平成 8 年 4 月	～	平成 10 年 3 月
加嶋 敬	平成 10 年 4 月	～	平成 14 年 3 月

看護学科長

種池 礼子	平成 14 年 4 月	～	平成 17 年 3 月
岡山 寧子	平成 17 年 4 月	～	

附属小児疾患研究施設長

楠 智一	昭和 57 年 12 月	～	昭和 61 年 3 月
伊地知濱夫	昭和 61 年 4 月	～	昭和 62 年 3 月
岡田 弘二	昭和 62 年 4 月	～	平成 3 年 3 月
岡 隆宏	平成 3 年 4 月	～	平成 5 年 3 月
近藤 元治	平成 5 年 4 月	～	平成 7 年 3 月
中川 雅夫	平成 7 年 4 月	～	平成 9 年 3 月
近藤 元治	平成 9 年 4 月	～	平成 11 年 3 月
安野 洋一	平成 11 年 4 月	～	平成 13 年 3 月
中川 雅夫	平成 13 年 4 月	～	平成 15 年 3 月
山岸 久一	平成 15 年 4 月	～	平成 17 年 3 月
本庄 英雄	平成 17 年 4 月	～	平成 19 年 3 月
木下 茂	平成 19 年 4 月	～	

附属脳・血管系老化研究センター所長

栗山 欣弥	平成 6 年 4 月	～	平成 12 年 3 月
井端 泰彦	平成 12 年 4 月	～	平成 18 年 3 月
山岸 久一	平成 18 年 4 月	～	

事務局長

鞍岡 香一	昭和 45 年 8 月	～	昭和 52 年 1 月
浅日 吉実	昭和 52 年 1 月	～	昭和 53 年 7 月
三浦 啓達	昭和 53 年 7 月	～	昭和 57 年 6 月
佐々木 宏	昭和 57 年 6 月	～	昭和 60 年 4 月
草木 慶治	昭和 60 年 4 月	～	昭和 61 年 5 月
谷 勝利	昭和 61 年 5 月	～	平成 2 年 6 月
堂端 明雄	平成 2 年 6 月	～	平成 6 年 5 月
武田 盛治	平成 6 年 6 月	～	平成 8 年 3 月
針尾 隆芳	平成 8 年 4 月	～	平成 11 年 3 月
重本 清志	平成 11 年 4 月	～	平成 12 年 3 月
東 昌司	平成 12 年 4 月	～	平成 14 年 5 月

奥田 登志男 平成 14 年 6 月 ～ 平成 16 年 4 月

安田 冠 平成 16 年 5 月 ～ 平成 18 年 5 月

出野 一成 平成 18 年 6 月 ～

歴代教授（旧大学令による大学以後）

進学課程

人文科学教室

鶴田 多八	大正 10 年 9 月 ～ 昭和 2 年 6 月	国 語（予科教授）
佐伯 梅友	昭和 6 年 4 月 ～ 昭和 17 年 5 月	国 語（予科教授）
穎原 退蔵	昭和 2 年 11 月 ～ 昭和 6 年 3 月	国 語（予科教授）
浅田 善二郎	昭和 17 年 5 月 ～ 昭和 23 年 3 月	国 語（予科教授）
吉田 忠勝	昭和 45 年 2 月 ～ 昭和 59 年 3 月	人文科学 名誉教授
湯浅 慎一	昭和 59 年 7 月 ～ 平成 14 年 3 月	名誉教授

社会科学教室

鯖田 豊之	昭和 45 年 2 月 ～ 平成 元年 3 月	社会科学 名誉教授
植木 哲	平成 元年 4 月 ～ 平成 5 年 3 月	
新村 拓	平成 5 年 4 月 ～ 平成 13 年 3 月	

人文・社会科学教室

棚次 正和 平成 14 年 12 月 ～

英語学

宮田 一	大正 11 年 2 月 ～ 昭和 26 年 3 月（予科教授）	
佐々木 宗要	大正 11 年 2 月 ～ 昭和 26 年 3 月（予科教授）	
習田 達夫	昭和 22 年 8 月 ～ 昭和 25 年 7 月（予科教授）	
服部 英二	昭和 30 年 4 月 ～ 昭和 50 年 4 月	名誉教授
増田 英夫	昭和 50 年 9 月 ～ 平成 4 年 3 月	名誉教授
須加 葉子	平成 4 年 4 月 ～ 平成 6 年 5 月	

ドイツ語教室

榎木 安三郎	大正 11 年 3 月 ～ 昭和 26 年 3 月（予科教授）	
高坂 正顕	大正 13 年 3 月 ～ 昭和 11 年 3 月（予科教授）	
宇野 喜代之助	大正 13 年 10 月 ～ 昭和 2 年 3 月（予科教授）	
武田 鉄五郎	昭和 3 年 3 月 ～ 昭和 26 年 3 月（予科教授）	
下程 勇吉	昭和 12 年 1 月 ～ 昭和 22 年 6 月（予科教授）	
臼井 竹次郎	昭和 17 年 3 月 ～ 昭和 24 年 8 月（予科教授）	
原 俊彦	昭和 30 年 9 月 ～ 昭和 45 年 3 月	名誉教授
山本 尤	昭和 46 年 4 月 ～ 平成 6 年 3 月	名誉教授
大武 博	平成 7 年 10 月 ～	

第一外国語教室

大武 博 平成 7 年 10 月 ～

第二外国語教室

須加 葉子 平成 6 年 5 月 ～

数学教室

永井 種次郎 大正 10 年 9 月 ～ 大正 13 年 5 月 (予科教授)

東儀 正 大正 14 年 4 月 ～ 昭和 26 年 3 月 (予科教授)

森 誉四郎 昭和 17 年 3 月 ～ 昭和 25 年 3 月 (予科教授)

久保 忠雄 昭和 30 年 4 月 ～ 昭和 36 年 4 月

桑垣 煥 昭和 36 年 8 月 ～ 昭和 59 年 3 月 名誉教授

八木 克己 昭和 59 年 4 月 ～ 平成 18 年 3 月 名誉教授

長崎 生光 平成 18 年 4 月 ～

物理学教室

柴 久光 大正 11 年 2 月 ～ 昭和 17 年 5 月 (予科教授)

塘 仁三 昭和 17 年 5 月 ～ 昭和 22 年 3 月 (予科教授)

杉原 雅 昭和 23 年 3 月 ～ 昭和 25 年 3 月 (予科教授)

藤喜 好文 昭和 30 年 6 月 ～ 昭和 53 年 3 月 名誉教授

斎藤 武 昭和 53 年 4 月 ～ 平成 7 年 3 月 名誉教授

花井 一光 平成 7 年 4 月 ～

化学教室

吉峯 時之輔 大正 12 年 3 月 ～ 大正 14 年 10 月 (予科教授)

森 益蔵 大正 12 年 11 月 ～ 昭和 17 年 9 月 (予科教授)

森島 三郎 大正 14 年 10 月 ～ 昭和 11 年 3 月 (予科教授)

荒木 新太郎 昭和 12 年 1 月 ～ 昭和 26 年 3 月 (予科教授)

三谷 一雄 昭和 30 年 4 月 ～ 昭和 54 年 3 月 名誉教授

森山 祥彦 昭和 54 年 4 月 ～ 平成 16 年 3 月 名誉教授

赤路 健一 平成 16 年 4 月 ～

生物学教室

門田 次郎吉 大正 10 年 9 月 ～ 大正 11 年 3 月 (予科教授)

箕浦 忠愛 大正 11 年 8 月 ～ 昭和 26 年 3 月 (予科教授)

井上 四郎 昭和 3 年 3 月 ～ 昭和 25 年 3 月 (予科教授)

仲尾 善雄 昭和 30 年 9 月 ～ 昭和 34 年 7 月

小野 善三郎 昭和 34 年 12 月 ～ 昭和 44 年 3 月

高本 薫 昭和 44 年 10 月 ～ 昭和 63 年 3 月 名誉教授

仲村 春和 昭和 63 年 9 月 ～ 平成 6 年 2 月

荒木 正介 平成 6 年 5 月 ～ 平成 10 年 4 月

佐野 護 平成 10 年 11 月 ～

専門課程

解剖学教室

島田 吉三郎	大正 7 年 1 2 月	～	昭和 1 4 年 5 月	名誉教授
勝 義孝	昭和 3 年 4 月	～	昭和 2 3 年 4 月	(生物物理化学教授に転科)
野田 秀俊	昭和 2 2 年 4 月	～	昭和 3 5 年 1 1 月	
山田 博	昭和 2 3 年 2 月	～	昭和 5 0 年 4 月	名誉教授
佐野 豊	昭和 3 6 年 6 月	～	平成 2 年 3 月	名誉教授
井端 泰彦	昭和 5 0 年 7 月	～	平成 1 2 年 9 月	名誉教授
河田 光博	平成 2 年 8 月	～		
横山 尚彦	平成 1 4 年 8 月	～		

生理学教室

越智 真逸	大正 4 年 1 2 月	～	昭和 2 2 年 9 月	名誉教授
勝 義孝	昭和 2 3 年 4 月	～	昭和 4 3 年 1 1 月	(生物物理化学) 名誉教授
吉村 寿人	昭和 2 2 年 9 月	～	昭和 4 5 年 3 月	名誉教授
岩瀬 善彦	昭和 3 3 年 9 月	～	昭和 5 6 年 3 月	名誉教授
亘 弘	昭和 4 5 年 6 月	～	昭和 5 2 年 1 2 月	
森本 武利	昭和 5 3 年 4 月	～	平成 1 1 年 3 月	名誉教授
外山 敬介	昭和 5 6 年 7 月	～	平成 1 1 年 3 月	名誉教授
丸中 良典	平成 1 2 年 2 月	～		
木村 實	平成 1 2 年 5 月	～		

生化学教室

吉川 順吉	大正 4 年 5 月	～	昭和 3 年 1 1 月	(医化学)
後藤 基幸	大正 1 2 年 1 2 月	～	昭和 2 1 年 2 月	(医化学)
藤田 秋治	昭和 2 1 年 1 2 月	～	昭和 3 3 年 3 月	名誉教授
能勢 善嗣	昭和 3 3 年 1 0 月	～	昭和 5 3 年 9 月	名誉教授
岩島 昭夫	昭和 5 3 年 1 1 月	～	平成 7 年 3 月	名誉教授
西野 輔翼	平成 7 年 1 0 月	～	平成 1 5 年 3 月	

分子医科学教室

西野 輔翼	平成 1 5 年 4 月	～	平成 1 9 年 3 月	名誉教授
田代 啓	平成 1 6 年 4 月	～		

病理学教室

角田 隆	明治 3 4 年 4 月	～	昭和 1 4 年 8 月	名誉教授
梅原 信正	大正 2 年 4 月	～	昭和 1 8 年 4 月	
荒木 正哉	昭和 1 6 年 1 1 月	～	昭和 4 0 年 3 月	名誉教授
田中 秋三	昭和 2 2 年 1 2 月	～	昭和 4 2 年 3 月	名誉教授
三宅 清雄	昭和 4 0 年 6 月	～	昭和 4 9 年 3 月	名誉教授
藤田 哲也	昭和 4 2 年 6 月	～	平成 7 年 3 月	名誉教授
米沢 猛	昭和 4 9 年 5 月	～	昭和 5 7 年 3 月	名誉教授
芦原 司	昭和 5 7 年 5 月	～	平成 1 2 年 1 0 月	

高松 哲郎 平成 7 年 4 月 ～

柳澤 昭夫 平成 15 年 9 月 ～

医動物学教室

長花 操 昭和 34 年 9 月 ～ 昭和 45 年 3 月 名誉教授

吉田 幸雄 昭和 45 年 5 月 ～ 平成 元年 3 月 名誉教授

有薊 直樹 平成 元年 4 月 ～

微生物学教室

常岡 良三 明治 39 年 4 月 ～ 昭和 17 年 8 月 (衛生学・細菌学)

加藤 明敏 昭和 17 年 12 月 ～ 昭和 18 年 3 月

鈴木 成美 昭和 18 年 11 月 ～ 昭和 41 年 3 月 名誉教授

菅沼 惇 昭和 41 年 10 月 ～ 昭和 49 年 12 月 名誉教授

岸田 綱太郎 昭和 50 年 4 月 ～ 昭和 58 年 3 月 名誉教授

今西 二郎 昭和 58 年 7 月 ～

薬理学教室

革島 廉三郎 大正 8 年 4 月 ～ 大正 11 年 8 月 (薬理学)

藤井 猪十郎 大正 13 年 3 月 ～ 昭和 27 年 4 月 (薬理学) 名誉教授

小澤 俊次 昭和 29 年 9 月 ～ 昭和 46 年 3 月 名誉教授

栗山 欣也 昭和 46 年 8 月 ～ 平成 8 年 3 月

矢部 千尋 平成 8 年 9 月 ～

衛生学教室

赤野 六郎 昭和 12 年 4 月 ～ 昭和 19 年 12 月

緒方 洪平 昭和 21 年 12 月 ～ 昭和 31 年 3 月 名誉教授

額田 繁 昭和 32 年 2 月 ～ 昭和 42 年 3 月

永田 久紀 昭和 43 年 1 月 ～ 昭和 61 年 3 月 名誉教授

阿部 達生 昭和 61 年 11 月 ～ 平成 13 年 3 月 名誉教授

公衆衛生学教室

川井 啓市 昭和 48 年 10 月 ～ 平成 7 年 9 月 名誉教授

酒井 敏行 平成 8 年 7 月 ～ 平成 15 年 3 月

保健・予防医学教室

酒井 敏行 平成 15 年 4 月 ～

法医学教室

小片 重男 昭和 32 年 2 月 ～ 昭和 49 年 3 月 名誉教授

山澤 吉平 昭和 49 年 6 月 ～ 昭和 56 年 10 月

古村 節男 昭和 57 年 5 月 ～ 平成 9 年 3 月 名誉教授

安原 正博 平成 10 年 1 月 ～

内科学教室

小川 瑳五郎 大正 3 年 10 月 ～ 大正 15 年 8 月 名誉教授

梅田 信義 大正 7 年 2 月 ～ 大正 11 年 6 月

浅山 忠愛 大正 12 年 2 月 ～ 昭和 18 年 1 月 名誉教授

飯塚 直彦 大正 15 年 9 月 ～ 昭和 25 年 5 月 名誉教授

細田 孟	昭和 18 年 3 月	～	昭和 34 年 3 月	名誉教授
川井 銀之助	昭和 23 年 1 月	～	昭和 32 年 7 月	名誉教授
館石 叔	昭和 26 年 8 月	～	昭和 33 年 5 月	
増田 正典	昭和 33 年 1 月	～	昭和 53 年 3 月	名誉教授
丸本 晋	昭和 34 年 8 月	～	昭和 47 年 3 月	名誉教授
吉田 秀雄	昭和 35 年 4 月	～	昭和 53 年 3 月	名誉教授
伊地知 濱夫	昭和 48 年 9 月	～	昭和 62 年 3 月	名誉教授
近藤 元治	昭和 53 年 7 月	～	平成 12 年 3 月	名誉教授
瀧野 辰郎	昭和 54 年 4 月	～	昭和 63 年 7 月	
中川 雅夫	昭和 62 年 8 月	～	平成 15 年 3 月	名誉教授
加嶋 敬	平成 元年 8 月	～	平成 14 年 3 月	名誉教授
吉川 敏一	平成 12 年 9 月	～		
松原 弘明	平成 15 年 4 月	～		
岡上 武	平成 14 年 11 月	～	平成 19 年 3 月	名誉教授
谷脇 雅史	平成 17 年 11 月	～		

外科学教室

川村 叶一	大正 3 年 8 月	～	昭和 2 年 9 月	
鈴木 正次	大正 11 年 9 月	～	昭和 3 年 11 月	
望月 成人	昭和 2 年 10 月	～	昭和 29 年 2 月	名誉教授
横田 浩吉	昭和 3 年 12 月	～	昭和 28 年 9 月	
河村 謙二	昭和 29 年 5 月	～	昭和 41 年 3 月	名誉教授
峯 勝	昭和 29 年 9 月	～	昭和 42 年 3 月	名誉教授
橋本 勇	昭和 42 年 8 月	～	昭和 58 年 6 月	名誉教授
間島 進	昭和 43 年 4 月	～	昭和 59 年 3 月	名誉教授
岡 隆宏	昭和 58 年 12 月	～	平成 11 年 3 月	名誉教授
山岸 久一	平成 10 年 11 月	～	平成 18 年 3 月	
吉村 了勇	平成 11 年 8 月	～		
夜久 均	平成 16 年 11 月	～		
大辻 英吾	平成 19 年 3 月	～		

脳神経外科学教室

平川 公義	昭和 53 年 4 月	～	昭和 63 年 3 月	
上田 聖	平成 元年 3 月	～	平成 10 年 4 月	名誉教授
峯浦 一喜	平成 10 年 8 月	～		

整形外科教室

来須 正男	昭和 23 年 1 月	～	昭和 33 年 3 月	名誉教授
諸富 武文	昭和 33 年 11 月	～	昭和 53 年 3 月	名誉教授
榊田 喜三郎	昭和 52 年 6 月	～	平成 元年 3 月	名誉教授
平澤 泰介	平成 元年 7 月	～	平成 13 年 3 月	名誉教授
久保 俊一	平成 14 年 2 月	～		

産婦人科学教室

山田 一夫	大正 14 年 1 1 月	～ 昭和 28 年 6 月	名誉教授
沢崎 千秋	昭和 29 年 3 月	～ 昭和 33 年 3 月	
徳田 源市	昭和 33 年 1 2 月	～ 昭和 45 年 9 月	
岡田 弘二	昭和 46 年 3 月	～ 平成 7 年 3 月	名誉教授
本庄 英雄	平成 7 年 4 月	～	

小児科学教室

三浦 操一郎	大正 6 年 7 月	～ 昭和 3 年 9 月	
斉藤 二郎	昭和 3 年 1 2 月	～ 昭和 26 年 5 月	名誉教授
中村 恒男	昭和 26 年 1 1 月	～ 昭和 48 年 3 月	名誉教授
楠 智一	昭和 48 年 6 月	～ 昭和 61 年 3 月	名誉教授
澤田 淳	昭和 61 年 7 月	～ 平成 12 年 3 月	名誉教授
杉本 徹	平成 12 年 5 月	～ 平成 19 年 6 月	名誉教授

眼科学教室

増田 隆	大正 5 年 1 月	～ 大正 14 年 1 2 月	
藤原 謙造	大正 15 年 7 月	～ 昭和 23 年 9 月	名誉教授
弓削 経一	昭和 22 年 1 0 月	～ 昭和 43 年 1 月	名誉教授
谷 道之	昭和 43 年 6 月	～ 昭和 51 年 1 1 月	名誉教授
糸井 素一	昭和 52 年 6 月	～ 平成 3 年 3 月	名誉教授
木下 茂	平成 4 年 4 月	～	

皮膚科学教室

中川 清	大正 7 年 2 月	～ 昭和 22 年 1 0 月	(皮膚科学) 名誉教授
片岡 八束	昭和 22 年 1 0 月	～ 昭和 29 年 1 1 月	(皮膚泌尿器科学) 名誉教授
岩下 健三	昭和 30 年 1 2 月	～ 昭和 43 年 3 月	(皮膚泌尿器科学) 名誉教授
外松 茂太郎	昭和 43 年 7 月	～ 昭和 60 年 3 月	名誉教授
安野 洋一	昭和 60 年 8 月	～ 平成 13 年 3 月	名誉教授
岸本 三郎	平成 14 年 2 月	～	

泌尿器科学教室

小田 完五	昭和 39 年 5 月	～ 昭和 50 年 6 月	
渡辺 決	昭和 51 年 1 月	～ 平成 10 年 3 月	名誉教授
三木 恒治	平成 10 年 6 月	～	

耳鼻咽喉科学教室

中村 登	明治 42 年 5 月	～ 昭和 20 年 7 月	
中村 文雄	昭和 21 年 4 月	～ 昭和 45 年 3 月	名誉教授
水越 治	昭和 45 年 6 月	～ 昭和 63 年 3 月	名誉教授
村上 泰	昭和 63 年 9 月	～ 平成 11 年 3 月	名誉教授
久 育男	平成 11 年 6 月	～	

精神医学教室

久保 昱二郎	大正 15 年 7 月	～ 昭和 26 年 1 1 月	名誉教授
小谷 庄四郎	昭和 27 年 2 月	～ 昭和 41 年 3 月	名誉教授

飯塚 礼二	昭和 4 1 年 1 1 月	～	昭和 4 5 年 3 月	
加藤 伸勝	昭和 4 6 年 5 月	～	昭和 5 8 年 8 月	名誉教授
中嶋 照夫	昭和 5 8 年 9 月	～	平成 8 年 3 月	名誉教授
福居 顯一	平成 8 年 7 月	～		

放射線医学教室

後藤 五郎	昭和 3 年 4 月	～	昭和 3 2 年 6 月	名誉教授
金田 弘	昭和 3 3 年 4 月	～	昭和 4 5 年 3 月	名誉教授
村上 晃一	昭和 4 6 年 4 月	～	平成 4 年 3 月	名誉教授
前田 知穂	平成 4 年 5 月	～	平成 1 1 年 3 月	名誉教授
西村 恒彦	平成 1 1 年 7 月	～		

麻酔学教室

宮崎 正夫	昭和 4 1 年 9 月	～	昭和 6 3 年 3 月	名誉教授
田中 義文	平成 2 年 1 1 月	～		

臨床検査部

島田 信男	昭和 4 8 年 1 1 月	～	昭和 6 3 年 3 月	名誉教授
吉村 學	昭和 6 3 年 4 月	～	平成 1 2 年 3 月	名誉教授

歯科学

本永 七三郎	大正 5 年 4 月	～	昭和 1 3 年 8 月	
堀 亘孝	平成 6 年 4 月	～		

附属小児疾患研究施設

尾内 善四郎	昭和 6 3 年 7 月	～	平成 1 1 年 3 月	名誉教授
岩井 直躬	昭和 6 3 年 7 月	～		
濱岡 建城	平成 1 1 年 6 月	～		

附属脳・血管系老化研究センター

中島 健二	平成 2 年 1 1 月	～	平成 1 4 年 3 月	名誉教授
伏木 信次	平成 1 0 年 1 月	～		
渡邊 能行	平成 1 0 年 3 月	～		
中川 正法	平成 1 4 年 1 0 月	～		

中央研究室費の推移（平成10年度から平成19年度まで）

（単位：千円）

年度	10	11	12	13	14	15
化学分析室	879	920	0	0	0	0
ガスクロマトグラフ質量分析計室	1,541	1,355	1,105	1,445	1,445	1,372
分光分析室	1,081	1,176	0	0	0	0
超遠心器室	2,372	2,209	415	415	415	415
低温室	204	217	76	76	75	38
分子生物学研究室	－220	581	579	315	779	
放射性同位元素室	3,917	3,905	4,342	3,716	4,030	4,917
人工気候室	850	897	0	0	0	0
電気生理研究室	1,005	977	0	0	0	0
磁気共鳴室	694	912	170	135	166	120
電子スピン共鳴室	262	234	0	0	0	0
電子顕微鏡室	1,669	1,685	0	0	0	0
フローサイトメトリー室	2,234	1,605	2,000	2,000	2,000	2,000
細胞化学研究室	536	956	325	1,512	1,512	1,512
組織培養室	1,120	1,093	111	111	111	111
液体室素室	－100	110	137	137	137	
コンピュータ室	－0	0	0	0		
実験動物室	2,282	2,277	5,918	5,893	5,893	5,465
臨床医学学舎分室	100	－	－	－	－	－
花園学舎分室	100	200	0	0	0	0

年度	16	17	18	19
生化学分析室	0	0	1,825	1,453
ガスクロマトグラフ質量分析計室	1,372	1,372	－	－
超遠心器室	415	415	－	－
低温室	38	38	－	－
分子生物学研究室	780	780	1,190	652
放射性同位元素室	4,172	4,405	4,291	3,564
人工気候室	0	0	0	0
電気生理研究室	0	0	0	0
磁気共鳴室	166	166	166	166
電子スピン共鳴室	0	0	869	0
電子顕微鏡室	0	1,212	1,202	1,202
フローサイトメトリー室	2,000	2,000	2,000	2,000
細胞化学研究室	2,100	1,567	1,567	1,567
組織培養室	105	0	0	0
液体室素室	238	239	276	84
プロテオミクス研究室	－	－	0	0
コンピュータ室0	0	0	0	
行動実験室	－	－	0	0
実験動物室	4,012	4,009	1,051	1,051
花園学舎分室	0	0	0	0

文部省科学研究費の推移（平成10年度～19年度まで）

（単位：千円）

種 別 \ 年 度	10		11		12		13		14	
特定領域研究A(1)	1	35,000	1	35,000						
特定領域研究A(2)	2	3,800	4	17,300	3	6,100	4	10,300		
特定領域研究C(2)					9	66,000	4	45,800		
特定領域研究									9	57,508
地域連携推進研究					1	22,800	1	19,600	1	20,700
基盤研究A(1)	1	1,700								
基盤研究A(2)	2	11,200	1	16,300	1	11,900	1	8,000		
基盤研究B(1)	1	7,000	2	7,100	1	3,200	2	10,400	2	8,700
基盤研究B(2)	26	104,800	28	122,100	26	114,200	29	157,200	27	135,600
基盤研究C(1)									1	2,200
基盤研究C(2)	53	71,934	60	79,200	66	105,200	68	87,925	70	100,195
奨励研究A	29	26,300	31	32,100	40	39,406	40	42,769		
萌芽の研究	13	11,300	12	12,200	15	14,600	13	10,900		
萌芽研究									15	21,100
国際学術研究	1	3,200								
若手研究B									39	46,884
合 計	129	276,234	139	321,300	162	383,406	162	392,894	164	392,887

種 別 \ 年 度	15		16		17		18		19	
特定領域研究	6	57,200	6	60,100	6	75,700	9	84,500	8	83,700
基盤研究A(2)	1	11,200	2	25,200						
基盤研究A					5	61,300	4	45,800	3	24,800
基盤研究B(1)	1	1,300								
基盤研究B(2)	30	165,000	28	146,600						
基盤研究B					18	89,900	21	116,500	20	100,400
基盤研究C(1)	1	1,000								
基盤研究C(2)	71	111,088	76	106,100						
基盤研究C					57	83,900	64	100,600	85	135,000
萌芽研究	18	30,100	19	29,900	23	36,700	19	29,800	12	18,100
若手研究B	35	51,338	42	60,600	39	61,900	48	70,600	58	91,400
若手研究(スタートアップ)							10	12,910	16	21,380
合 計	163	428,226	173	428,500	148	409,400	175	460,710	203	474,780

大学入学試験の推移

入試年度	1999年			
学科区分	医学科		医療技術短期大学部	
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	一般選抜	推薦入試
募集人員	90人	10人	50人	50人
志願書 受付期間	1月24日～2月2日		1月11日～18日	11月1日～4日
受験料	17,000円		18000円	
試験場	医療技術短期大学部	本学	医療技術短期大学部	
試験期日	2月25日、26日	3月12日	3月2日～3日	H19.11.26
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は800点で、第2段階選抜は400点換算で2次学力試験500点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理B・Ⅱ」「化学B・Ⅱ」「生物B・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200点 理科は2科目必要 第1段階選抜は900点で、第2段階選抜は450点換算で2次学力試験450点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)450点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。	学力試験 国語(Ⅰ・Ⅱ) 数学(Ⅰ・A・Ⅱ) 外国語(Ⅰ・Ⅱ) 理科(物理・化学・生物から1) 各100点 面接	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	900点	900点	400点	
第1段階 選抜発表	2月12日	2月28日		
健康診断	2月25日	3月12日	3月3日	11月26日
合格者発表	3月9日	3月23日	3月16日	12月15日
志願者数	417人	292人	426人	81人
受験者数	397人	103人(151人)	314人	81人
合格者数	90人	10人	113人	50人
入学者数	90人	10人	50人	
合格者 最高点	720.5点	748点	305点	
合格者 最低点	597点	669点	217点	
入試委員長	栗山欣弥			

入試年度	2000年			
学科区分	医学科		医療技術短期大学部	
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	一般選抜	推薦入試
募集人員	90人	10人	50人	50人
志願書 受付期間	1月29日～2月6日		1月11日～18日	11月2日～6日
受験料	17, 000円		18000円	
試験場	医療技術短期大学部			
試験期日	2月25日、26日	3月12日	3月3日～4日	11月26日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は800点で、第2 段階選抜は400点換算で2次学 力試験500点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディ ング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、 B、C)150点 理科(「物理B・Ⅱ」「化学B・ Ⅱ」「生物B・Ⅱ」から2科目)200 点 面接 医師及び医学研究者にふ さわしい資質、適性を評価す る。	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200 理科は2科目必要 第1段階選抜は900点で、第2 段階選抜は450点換算で2次学 力試験450点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学 の理解力、表現力を見る)450点 面接 医師及び医学研究者にふさ わしい資質、適性を評価する。	学力試験 国語(Ⅰ・Ⅱ) 数学(Ⅰ・A・Ⅱ) 外国語(Ⅰ・Ⅱ) 理科(物理・化学・生 物から1) 各100点 面接	学力試験 小論文(英文による 出題を含む) 面接 看護職者にふさわ しい資質、適性を評 価する その他 推薦学校長から提 出された推薦書及び 調査書 <配点非公表>
	900点	900点	400点	
	第1段階 選抜発表	2月13日	2月28日	
健康診断	2月25日	3月12日	3月3日	11月26日
合格者発表	3月8日	3月22日	3月16日	12月20日
志願者数	392人	320人	454人	73人
受験者数	369人	141人(200人)	324人	73人
合格者数	80人	20人	91人	50人
入学者数	80人	20人	50人	50人
合格者 最高点	760.5点	723点	323点	
合格者 最低点	621点	649.5点	220点	
入試委員長	栗山欣弥			

入試年度	2001年			
学科区分	医学科		医療技術短期大学部	
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	一般選抜	推薦入試
募集人員	90人	10人	50人	25人
志願書 受付期間	1月27日～2月6日		1月21日～25日	1月15日～18日
受験料	17,000円			
試験場	医療技術短期大学部			
試験期日	2月25日、26日	3月12日	2月23日	2月8日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科100点 外国語200 第1段階選抜は800点で、第2段階選抜は400点換算で2次学力試験500点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理B・Ⅱ」「化学B・Ⅱ」「生物B・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200 理科は2科目必要 第1段階選抜は900点で、第2段階選抜は450点換算で2次学力試験450点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る450点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。	学力試験 国語(Ⅰ・Ⅱ) 数学(Ⅰ・A・Ⅱ) 外国語(Ⅰ・Ⅱ) 理科(物理・化学・生物から1) 各100点	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	900点	900点	400点	
第1段階 選抜発表	2月13日	2月28日		
健康診断	2月25日	3月12日	2月23日	2月8日
合格者発表	3月7日	3月22日	H19.3.8	2月27日
志願者数	415人	434人	636人	37人
受験者数	392人	140人(201人)	552人	36人
合格者数	81人	20人	81人	25人
入学者数	80人	20人	50人	25人
合格者 最高点	696.5点	708点	325点	
合格者 最低点	588.5点	647点	247点	
入試委員長	井端泰彦			

入試年度	2002年				
学科区分	医学科		看護学科		
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	前期日程試験	後期日程試験	推薦入学
募集人員	80人	20人	40人	10人	25人
志願書 受付期間	1月27日～2月5日				11月1日～6日
受験料	17,000円				
試験場	看護学学舎		基礎医学学舎	看護学学舎	
試験期日	2月25日、26日	3月12日	2月25日	3月12日	11月26日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は800点で、第2段階選抜は400点換算で2次学力試験・面接600点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理ⅠB・Ⅱ」「化学ⅠB・Ⅱ」「生物ⅠB・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200点 理科は2科目必要 第1段階選抜は900点で、第2段階選抜は450点換算で2次学力試験・面接550点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)450点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1及び第2段階選抜は700点で、2次学力試験・面接200点と合計 2次学力試験 小論文(英文による出題を含む)100点 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は700点で、第2段階選抜は350点で2次学力試験・面接350点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)300点 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する。50点	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	1000点	1000点	900点	700点	
第1段階 選抜発表	2月12日	2月28日	2月12日	2月28日	
健康診断	2月25日	3月12日	2月25日	3月12日	11月26日
合格者発表	3月6日	3月20日	3月6日	3月20日	12月24日
志願者数	428人	254人	112人	90人	31人
受験者数	408人	143人(200人)	107人	57人	31人
合格者数	81人	20人	42人	10人	25人
入学者数	80人	20人	40人	10人	25人
合格者 最高点	872.5点	823.5点	774点	480点	
合格者 最低点	754点	760.5点	678.0	410.5点	
入試委員長	井端泰彦				

入試年度	2003年				
学科区分	医学科		看護学科		
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	前期日程試験	後期日程試験	推薦入学
募集人員	80人	20人	40人	10人	25人
志願書 受付期間	1月26日～2月4日				11月10日～12日
受験料	17,000円				
試験場	看護学学舎				
試験期日	2月25日、26日	3月12日	2月25日	3月12日	12月4日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科100点 外国語200 第1段階選抜は800点で、第2段階選抜は400点換算で2次学力試験・面接600点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理ⅠB・Ⅱ」「化学ⅠB・Ⅱ」「生物ⅠB・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200 理科は2科目必要 第1段階選抜は900点で、第2段階選抜は450点換算で2次学力試験・面接550点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)450点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200 第1及び第2段階選抜は700点で、2次学力試験・面接200点と合計 2次学力試験 小論文(英文による出題を含む)100点 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200 第1段階選抜は700点で、第2段階選抜は350点で2次学力試験・面接350点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)300点 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する。50点	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	1000点	1000点	900点	700点	
第1段階選抜発表	2月12日	2月27日	2月12日	2月27日	
健康診断	2月25日	3月12日	2月25日	3月12日	12月4日
合格者発表	3月4日	3月23日	3月4日	3月23日	12月12日
志願者数	435人	342人	48人	71人	47人
受験者数	377人(400人)	142人(200人)	48人	42人	47人
合格者数	80人	20人	43人	12人	25人
入学者数	80人	20人	40人	10人	25人
合格者 最高点	801点	840点	745点	540.0	
合格者 最低点	700.5点	764.5点	534点	457.0	
入試委員長	井端泰彦				

入試年度	2004年				
学科区分	医学科		看護学科		
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	前期日程試験	後期日程試験	推薦入学
募集人員	80人	20人	40人	10人	25人
志願書 受付期間	1月24日～2月2日				11月8日～10日
受験料	17,000円				
試験場	看護学学舎				
試験期日	2月25日、26日	3月12日	2月25日	3月12日	12月1日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200点 理科は2科目 第1段階選抜は900点で、第2段階選抜は300点換算で2次学力試験・面接600点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理ⅠB・Ⅱ」「化学ⅠB・Ⅱ」「生物ⅠB・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科200点 外国語200点 理科は2科目必要 第1段階選抜は900点で、第2段階選抜は450点換算で2次学力試験・面接550点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)450点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1及び第2段階選抜は700点で、2次学力試験・面接200点と合計 2次学力試験 小論文(英文による出題を含む)100点 面接 看護職者 にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は700点で、第2段階選抜は350点で2次学力試験・面接350点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)300点 面接 看護職者 にふさわしい資質、適性を評価する。50点	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	1000点	1000点	900点	700点	
第1段階 選抜発表	2月10日				
健康診断	2月25日	3月12日	2月25日	3月12日	12月1日
合格者発表	3月3日	3月23日	3月3日	3月23日	12月10日
志願者数	406人	288人	99人	84人	42人
受験者数	387人	137人(203人)	96人	53人	42人
合格者数	81人	20人	42人	11人	25人
入学者数	80人	20人	40人	10人	25人
合格者 最高点	873.8点	830.5点	742点	527点	
合格者 最低点	733点	745点	626点	461.5点	
入試委員長	井端泰彦				

入試年度	2005年				
学科区分	医学科		看護学科		
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	前期日程試験	後期日程試験	推薦入学
募集人員	80人	20人	40人	10人	25人
志願書 受付期間	1月30日～2月7日				11月7日～9日
受験料	17,000円				
試験場	看護学学舎				
試験期日	2月25日、26日	3月12日	2月25日	3月12日	12月1日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科300点 外国語200点 理科は3科目必要 第1段階選抜は1000点で、第2段階選抜は500点換算で2次学力試験・面接600点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」「生物Ⅰ・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科300点 外国語200点 理科は3科目必要 第1段階選抜は1000点で、第2段階選抜は500点換算で2次学力試験・面接550点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)450点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1及び第2段階選抜は700点で、2次学力試験・面接200点と合計 2次学力試験 小論文(英文による出題を含む)100点 面接 看護職者 にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は700点で、第2段階選抜は350点で2次学力試験・面接350点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)300点 面接 看護職者 にふさわしい資質、適性を評価する。50点	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	1100点	1050点	900点	700点	
第1段階 選抜発表	2月14日				
健康診断	2月25日	3月12日	2月25日	3月12日	12月1日
合格者発表	3月9日	3月23日	3月9日	3月23日	12月9日
志願者数	297人	332人	67人	69人	41人
受験者数	288人	124人(204人)	64人	36人	40人
合格者数	80人	20人	41人	14人	25人
入学者数	80人	20人	40人	10人	25人
合格者 最高点	956.1点	872.2点	749点	536.9点	
合格者 最低点	844.6点	817.2点	664.8点	428.2点	
入試委員長	井端泰彦				

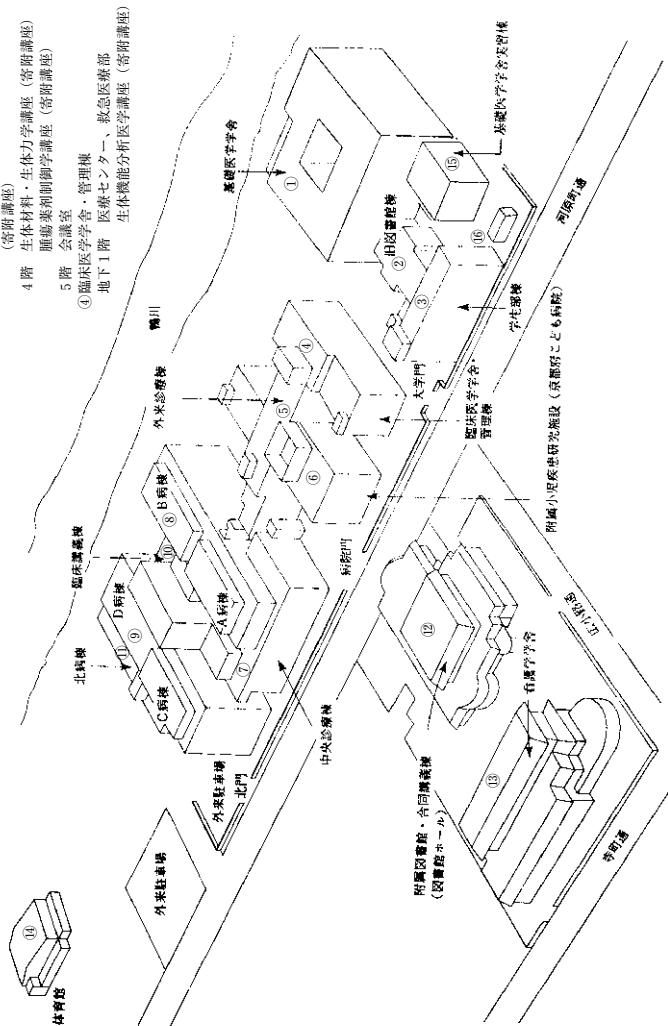
入試年度	2006年				
学科区分	医学科		看護学科		
試験区分	前期日程試験	後期日程試験	前期日程試験	後期日程試験	推薦入学
募集人員	80人	20人	40人	10人	25人
志願書 受付期間	1月29日～2月6日				11月6日～8日
受験料	17,000円		17,000円		
試験場	看護学学舎		看護学学舎		
試験期日	2月25日、26日	3月12日	2月25日	3月12日	12月1日
試験科目 配点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科300点 外国語200点 理科は3科目必要 第1段階選抜は1000点で、第2段階選抜は500点換算で2次学力試験・面接600点と合計 2次学力試験 英語(英語Ⅰ、Ⅱ、リーディング、ライティング)150点 数学(数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)150点 理科(「物理Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」「生物Ⅰ・Ⅱ」から2科目)200点 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学200点 理科300点 外国語200点 理科は3科目必要 第1段階選抜は1000点で、第2段階選抜は500点換算で2次学力試験・面接550点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る450点) 面接 医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1及び第2段階選抜は700点で、2次学力試験・面接200点と合計 2次学力試験 小論文(英文による出題を含む)100点 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する。100点	大学入試センター試験 国語200点 地理歴史・公民100点 数学100点 理科100点 外国語200点 第1段階選抜は700点で、第2段階選抜は350点で2次学力試験・面接350点と合計 2次学力試験 総合問題(英語と自然科学の理解力、表現力を見る)300点 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する。50点	学力試験 小論文(英文による出題を含む) 面接 看護職者にふさわしい資質、適性を評価する その他 推薦学校長から提出された推薦書及び調査書 <配点非公表>
	1100点	1050点	900点	700点	
第1段階 選抜発表	2月13日				
健康診断	2月25日	3月12日	2月25日	3月12日	12月1日
合格者発表	3月8日	3月22日	3月8日	3月22日	12月14日
志願者数	209人	201人	73人	102人	60人
受験者数	202人(208人)	122人	71人	60人	60人
合格者数	80人	20人	40人	11人	25人
入学者数	80人	20人	40人	10人	25人
合格者 最高点	908.7点	942.4点	743.6点	664.4点	
合格者 最低点	782.9点	859.4点	555点	486.6点	
入試委員長	山岸久一				

受験者数の()の数は第一段階選抜合格者数

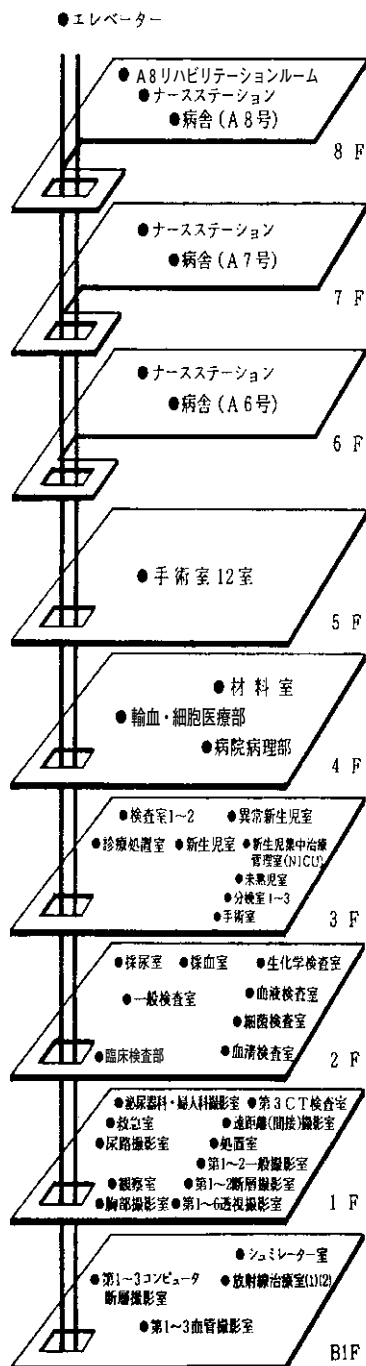
キャンパスマップ

(平成19. 4 現在)

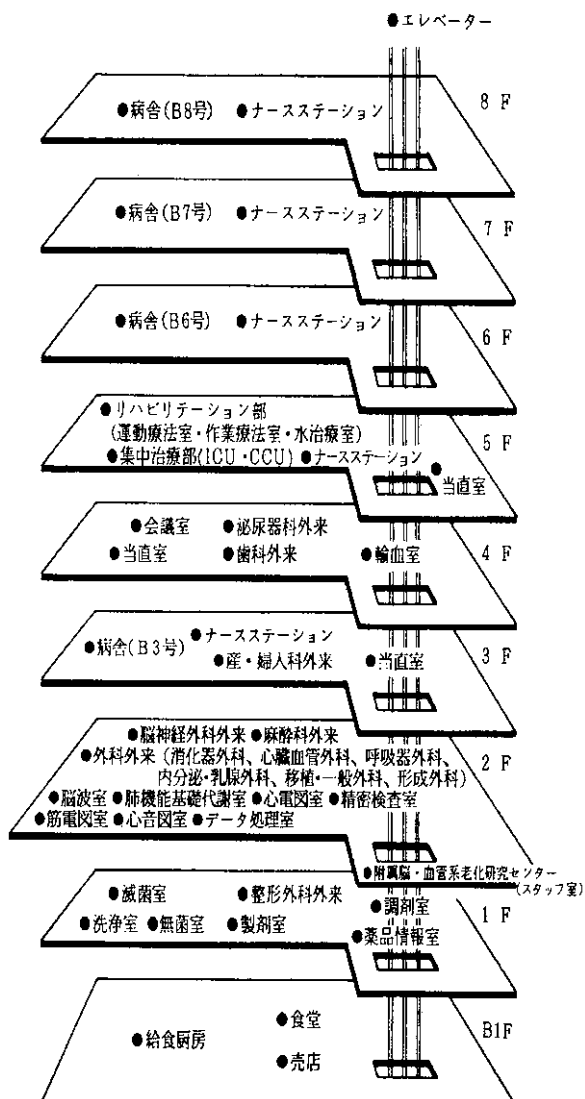
- ①基礎医学学舎
地下1階 大学院中央研究室、病理解剖室、第1実習室、法医解剖室
地下2階 中央監視室、電気室、R I 排水処理室、機械室
- 1階 脳・血管系老化研究センター(所長室、神経内科学部門(内科学教室 神経内科学部門)、講義室、大学院中央研究室(実動物物室)、第2実習室
- 2階 脳・血管系老化研究センター(神経化学・分子遺伝学部門、社会医学・人文科学部門(保健・予防医学教室 公衆保健科学部門))、演習室、標本室(病理)、第3実習室
- 3階 脳・血管系老化研究センター(細胞生物學部門)、第5実習室、標本室(系統解剖 法医学動物)、小実習室、共同準備室、第4実習室、コンピュータ室
- 4階 大学院中央研究室(R I 施設等)
- 5階 大学院中央研究室
- 6階 解剖学教室(生体構造科学部門、生体機能形態科学部門)、分子医科学教室(分子生化学部門、生理学教室、生体機能制御学部門、神経生理學部門)
- 7階 分子医科学教室(ガン医科学部門)、病理学教室(細胞分子機能病理学部門、脳・血管系老化研究センター(病態病理学部門(病理学教室 分子機能病理学部門)、薬理学教室、微生物学教室)
- 8階 医動物学教室、保健・予防医学教室(予防医学部門、公衆保健科学部門)、法医学教室
- ②旧附属図書館棟
地階 食堂、体育室
1階 学生クラブボックス、生協
2階 学生クラブボックス
③学生部棟
地階 資料室
1階 学生部
2階 学生部
3階 学生部
4階 学生部
5階 学生部
6階 学生部
7階 学生部
8階 学生部
9階 学生部
10階 学生部
11階 学生部
12階 学生部
13階 学生部
14階 学生部
15階 学生部
16階 学生部
17階 学生部
18階 学生部
19階 学生部
20階 学生部
21階 学生部
22階 学生部
23階 学生部
24階 学生部
25階 学生部
26階 学生部
27階 学生部
28階 学生部
29階 学生部
30階 学生部
31階 学生部
32階 学生部
33階 学生部
34階 学生部
35階 学生部
36階 学生部
37階 学生部
38階 学生部
39階 学生部
40階 学生部
41階 学生部
42階 学生部
43階 学生部
44階 学生部
45階 学生部
46階 学生部
47階 学生部
48階 学生部
49階 学生部
50階 学生部
51階 学生部
52階 学生部
53階 学生部
54階 学生部
55階 学生部
56階 学生部
57階 学生部
58階 学生部
59階 学生部
60階 学生部
61階 学生部
62階 学生部
63階 学生部
64階 学生部
65階 学生部
66階 学生部
67階 学生部
68階 学生部
69階 学生部
70階 学生部
71階 学生部
72階 学生部
73階 学生部
74階 学生部
75階 学生部
76階 学生部
77階 学生部
78階 学生部
79階 学生部
80階 学生部
81階 学生部
82階 学生部
83階 学生部
84階 学生部
85階 学生部
86階 学生部
87階 学生部
88階 学生部
89階 学生部
90階 学生部
91階 学生部
92階 学生部
93階 学生部
94階 学生部
95階 学生部
96階 学生部
97階 学生部
98階 学生部
99階 学生部
100階 学生部



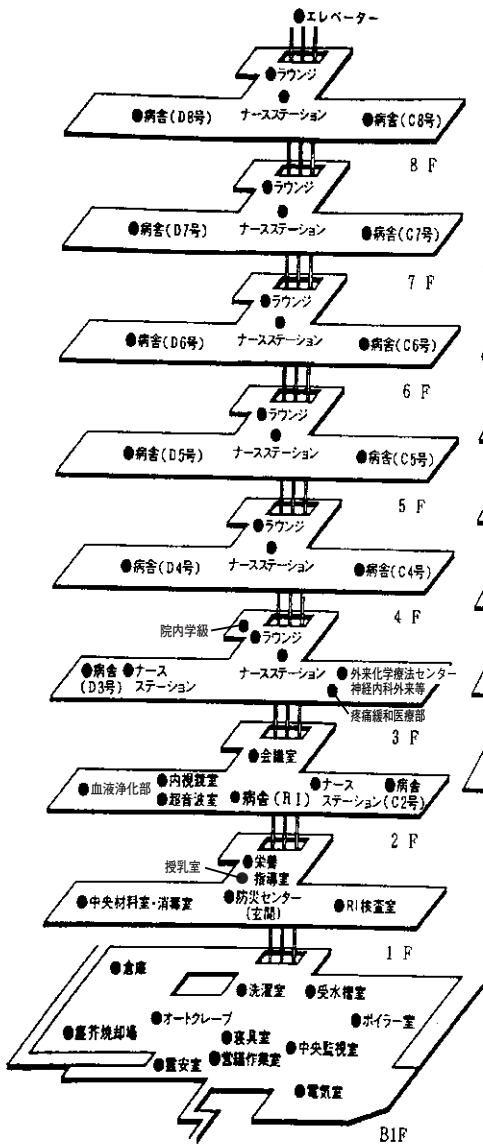
中央診療棟・A病棟各階別施設概要 (マップ⑨)



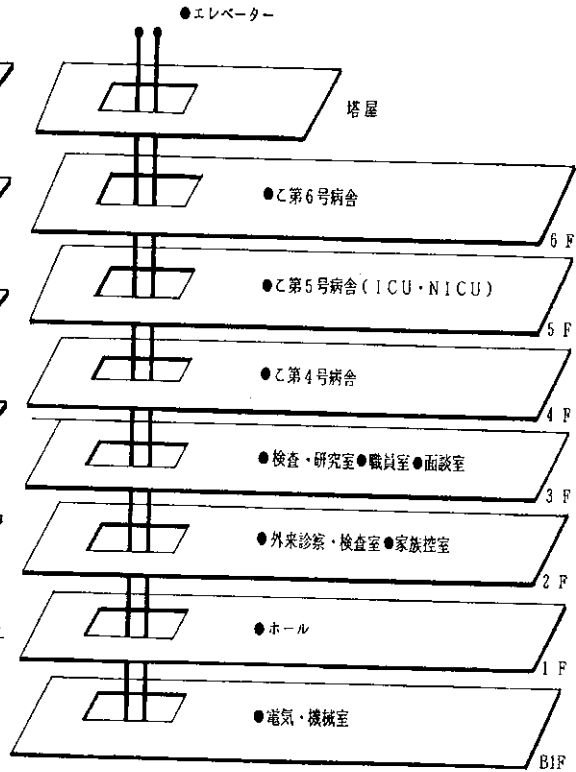
B病棟各階別施設概要 (マップ⑩)



C・D病棟各階別施設概要
(マップ⑪)

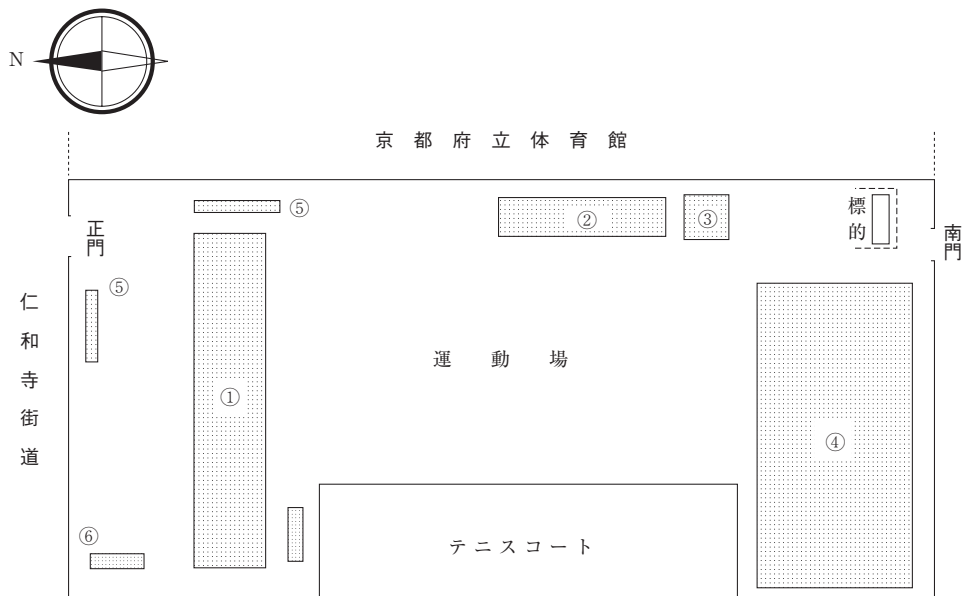


附属小児疾患研究施設 (京都府こども病院)
階別施設概要 (マップ⑧)



京都府立医科大学花園学舎略図

(平19. 4. 1 現在)



①本館

1階 事務室、会議室、医務室、第6・7講義室、当直室

2階 化学研究室、化学実習室、図書室・自習室

3階 物理学研究室、物理学実習室、人文系研究室

第一外国語・第二外国語・数学・人文・社会科学の各研究室

4階 生物学研究室、生物学実習室、第4講義室、コンピュータ室

5階 第1・2・3・5講義室

地階 食堂、売店、機械・電気室

②クラブボックス

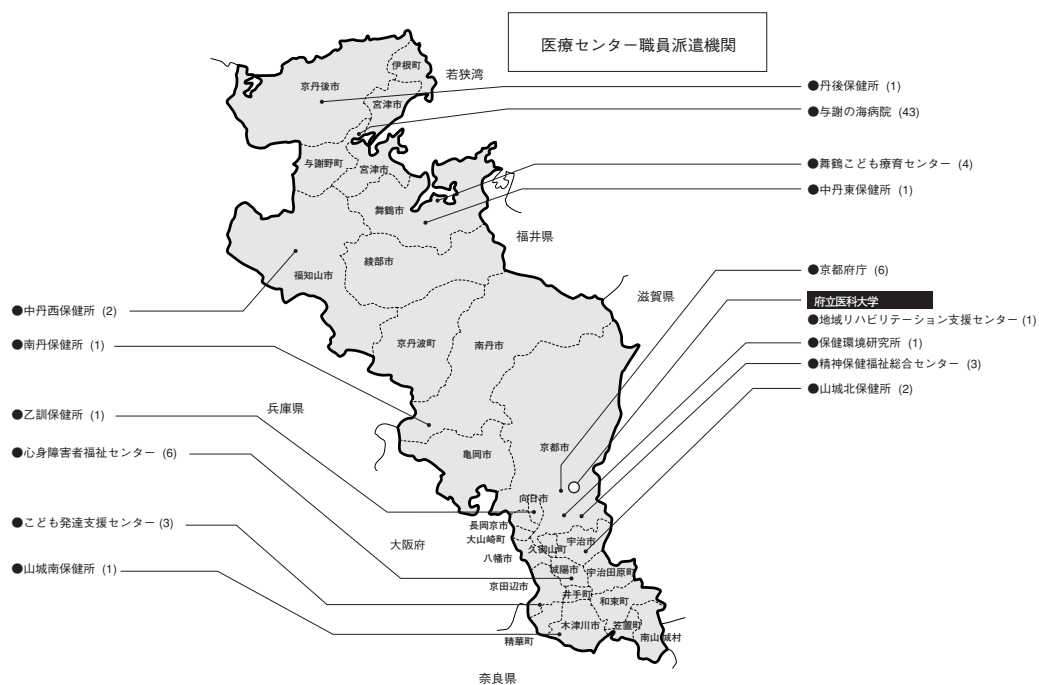
③弓道場

④体育館、剣道場、柔道場

⑤自転車置場

⑥バイク置場

医療センター



医療センター職員配置表

(平成 19.4.1 現在 計76名)

配 置 先	配置 人員	配 置 先 の 職
医 療 セ ン タ ー	(1)	所長
職 員 総 務 室	1	総括産業医
保 健 福 祉 部	1	理事（保健医療政策担当）
健 康 ・ 医 療 総 括 室	3	健康・医療総括室長、健康対策室医務主幹、健康増進室医務主幹
福 祉 総 括 室	1	生活福祉室医務主幹
心 身 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー	6	所長、保健福祉総務室参事（リハビリテーション病院長）、保健福祉総務室副室長（整形外科医長）、保健福祉総務室医務主幹（整形外科医長）、神経内科医長、歯科医長
こども発達支援センター	3	保健福祉部理事（所長）、保健福祉総務室副室長（医長）、医長
舞鶴こども療育センター	4	所長、診療部長兼整形外科医長、小児科医長、主任
精神保健福祉総合センター	3	所長、医療福祉課長、主任医師
乙 訓 保 健 所	1	所長
山 城 北 保 健 所	2	所長、技師
山 城 南 保 健 所	1	所長
南 丹 保 健 所	1	所長
中 丹 西 保 健 所	2	所長、医務主幹
中 丹 東 保 健 所	1	地域保健医療監（所長）
丹 後 保 健 所	1	所長
保 健 環 境 研 究 所	1	細菌・ウイルス課主任研究員
与 謝 の 海 病 院	43	院長、副院長、診療部長、診療部担当部長、内科医長（消化器）、内科副医長（消化器）、内科医長（腎臓・高血圧）、内科医長（循環器）、内科副医長（循環器）、内科医長（呼吸器）、内科医長（内分泌・糖尿病・代謝）、外科医長、外科副医長、脳神経外科医長、整形外科医長、整形外科副医長、産婦人科医長、小児科医長、小児科副医長、眼科医長、泌尿器科医長、皮膚科医長、耳鼻咽喉科医長、耳鼻咽喉科副医長、精神・神経科医長、麻酔科医長、臨床病理科医長、技師（16）
地域リハビリテーション支援センター	1	センター長